

前田たかし議員 の質問に

市長が表明

防災ラジオは 希望する全世帯に無償貸与

◆ これまでの制度—無償貸与

- 75歳以上のみの世帯
- 難聴地域にお住まいの方
- 現在、1115機を貸与



◆ これからは

- 希望する全世帯
- 今後、広報で周知

前田議員の市議会一般質問要旨・紹介した事例

「昼間は高齢の一人暮らしなので、災害情報などが必要だと思い、市に防災ラジオの貸与を申し込みました。必要な書類を整えて提出すると、『同じ世帯に息子さんがいるからできません』とのこと。でも息子は、昼間は仕事に出かけて家にはいません。いざという時には大変不安です。」との市民の声を紹介。

命を守るためには、大人は1日3リットルの水が必要といます。「健康と命が第一」というのが美濃加茂市の方針です。命に関わる問題だけに、緊急時の情報提供が大切です。防災ラジオを急いで全世帯に無償貸与すべきです。

また、7月の豪雨災害の時は、美濃加茂市で断水が続きました。しかし、断水情報は防災ラジオでは放送されませんでした。命に関わる情報は正確に提供すべきです。同報無線と同様の内容で、一般情報も含めて情報提供することが必要です。

今回のような断水パニックや、自動車などの水を運ぶ手段をもたない方々が苦勞するようなことは避けなければなりません。



市民の声—同報無線だけでは緊急情報が市民に伝わらない

- 「音声によっては、とても聞きづらい」
- 「雨が降っている時は何を言っているのか、全くわからない」
- 「地域によっては声がぶつかって、聞き取れない」



新しいみのかも9月号外

2018.09月 発行/日本共産党美濃加茂市委員会 前田たかし Tel26-3264

※日本共産党の政策をお知らせします